

読者のみなさんのページです。広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板

● ようやく春が来ました。雪が消えたら庭のクロッカス、水仙、チューリップの芽がニョキニョキと出てきました。生命力の強さを感じました

(ヤツちゃん 77歳)

● 少しずつ暖かい日が増えてきて、青空を眺めながらの散歩も楽しめるようになってきました(なめこ 22歳・広面)

● 早いものです。大森山動物園が開園40周年とは驚きです。昔、千秋公園にあった動物園を見た帰り、堀のほとりを散歩中に風船を空高く飛ばしてしまい、泣き止まなかった娘も今や46歳です。私ももう少し頑張らなければと思う今日このごろです

(三浦稔さん 73歳・下新城)

● 大森山動物園がオープンしましたね！ 昨年は年間パスポートを購入したので、雪が降ってくるころまで1歳の息子と週2、3回のペースで散歩がてら通っていました。今年もいっぱい通うぞ！ 脱走したアライグマさんが見つかるといいですね

(桐谷千晶さん 28歳・八橋)

● 広報あきた3月15日号の非常持出品・備蓄品リストはとても参考になりました。いつも持ち歩いているバッグの中には携帯ラジオと小さなライトが入っているのですが、家にはこのくらいの準備が必要と、再度確認することができました。：災害が起きないことを心では願っています

(あにばん 33歳・横森)

● 東日本大震災から2年の節目に、防災用品をもう一度点検したら、まだ必要なものがあり、最低限の備えでもこんなにあるんだと改めて感じました(パンジー 72歳・新藤田)

● 3月16日にデビューした秋田新幹線「スーパーこまち」に乗って、仙台まで行ってきました。グリーン車はとてよい乗り心地でした

(富樫貞子さん 70歳・牛島)

● 私の家は老人夫婦の生活なので、生ごみを出す一回の袋は10リットルに決めています。それでも袋に余裕のあるときは、次の回に出すように決めています

(中川末吉さん 90歳・広面)



おしえて!!

### 牛島学区の防災・防犯マップが完成 一目でわかる 地域の“安全・安心”情報



地図は見やすいカラー印刷です



通学路の巡回が日課と話す桃井さん

牛島学区安全パトロール推進協議会が、同地区の防災・防犯マップを作成し、各世帯へ配布しました。

地図の測量から、行政や近隣町内との連絡調整までを行った、同会会長の桃井三雄さんは、「私自身、日本海中部地震を能代沿岸で経験したことなどもあり、地域の防災に関心がありました」とのこと。実際に地図づくりを手がけるようになったのは平成17年からで、当初、地域の詳細を示すものがなく、一からの地図づくりに苦労したそうです。

今回完成したマップは「4代目」となり、各世帯の位置、避難場所はもちろん、消火栓の位置や道路の幅など、災害時に役立つ細かい情報をまとめました。東日本大震災の教訓も生かしたそうで、「津波から避難する際に参考となる標高を入れました。地形が大きく変わることはずありません。5年先、10年先と活用できるものができると思います」と自信を込めます。

桃井さんは、「地域の防災・防犯のため、ぜひ他の町内でも作ってほしいです。特に海や川沿いの地域で参考にしてもらえれば」と、地図づくりへの思いを語ってくれました。

